

説明会：オンライン授業の 学生への通知方法

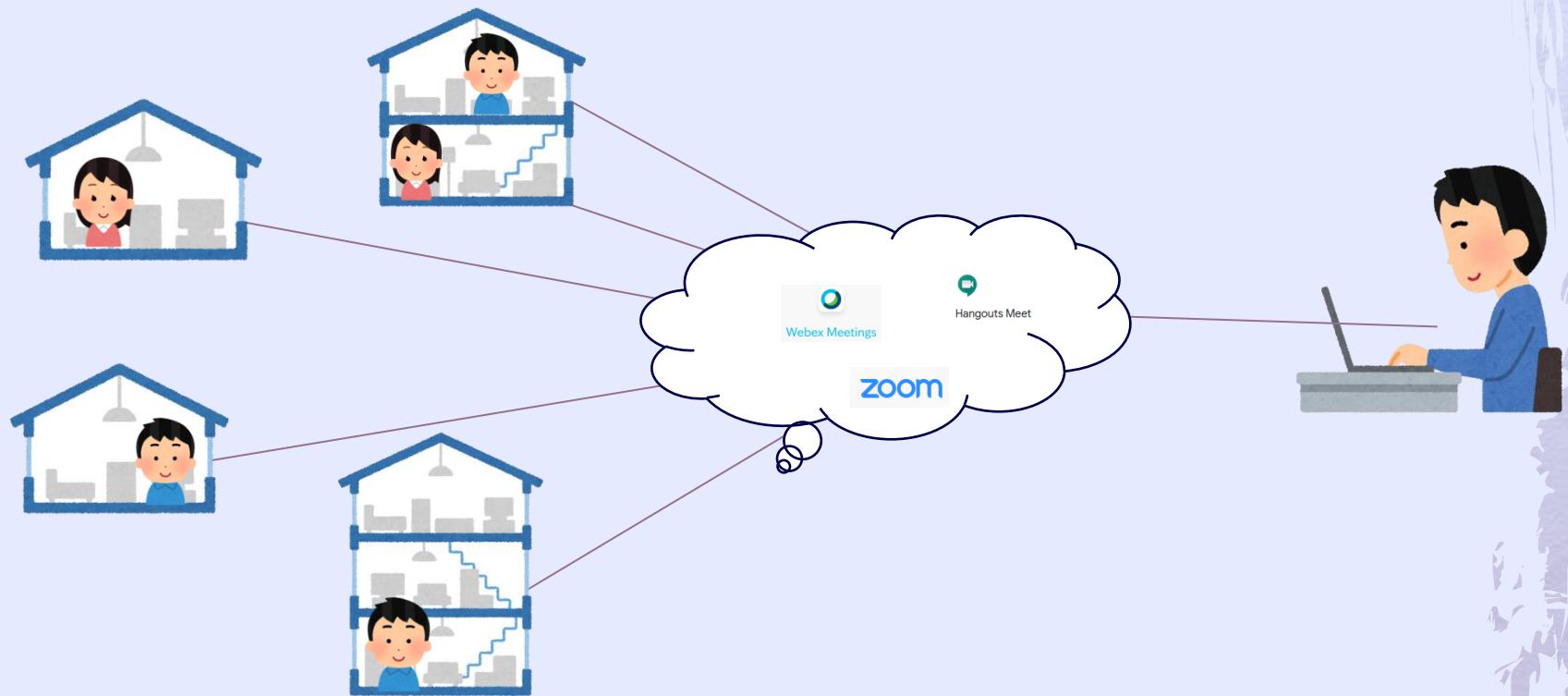
情報基盤センター 田浦健次郎

本日の会議

- ◆ 第一部：説明編
 - ◆ 学生へのオンライン授業情報の周知の仕方
- ◆ 第二部：質疑・課題共有・検討編
- ◆ (学内向けに配信するため) 説明会の内容を録画させていただきます
- ◆ 前2回の説明会も配信します
 - ◆ 3/13 授業のオンライン化を念頭に置いたTV会議ツールと使い方説明会
 - ◆ 3/19オンライン基礎講座 Zoom の使い方

今日の目的

- ◆ オンラインで授業を行う先生がその情報（会議室URL）をどう学生に伝えるか？



TV会議の復習

- ◆ 開催者が会議を作ると以下のような文字列（URL）が作られる
 - ◆ 例: <https://zoom.us/j/631442133>
- ◆ それを「なんとかして」**参加者**に知らせる（手段はなんでもよい）
 - ◆ メール、LINE
 - ◆ 郵便（そんな人はいませんが）
 - ◆ 電話で読み上げ（そんな人はいませんが）

例えば知り合いとの会議なら

- ◆ メールで送ればよい
- ◆ 知り合い：メールアドレスを知っている



Kenjiro Taura <tau@eidos.ic.i.u-tokyo.ac.jp>

To tamatsukuri.junji@mail.u-tokyo.ac.jp, sakaguchi, utelecon ▾

6分後に

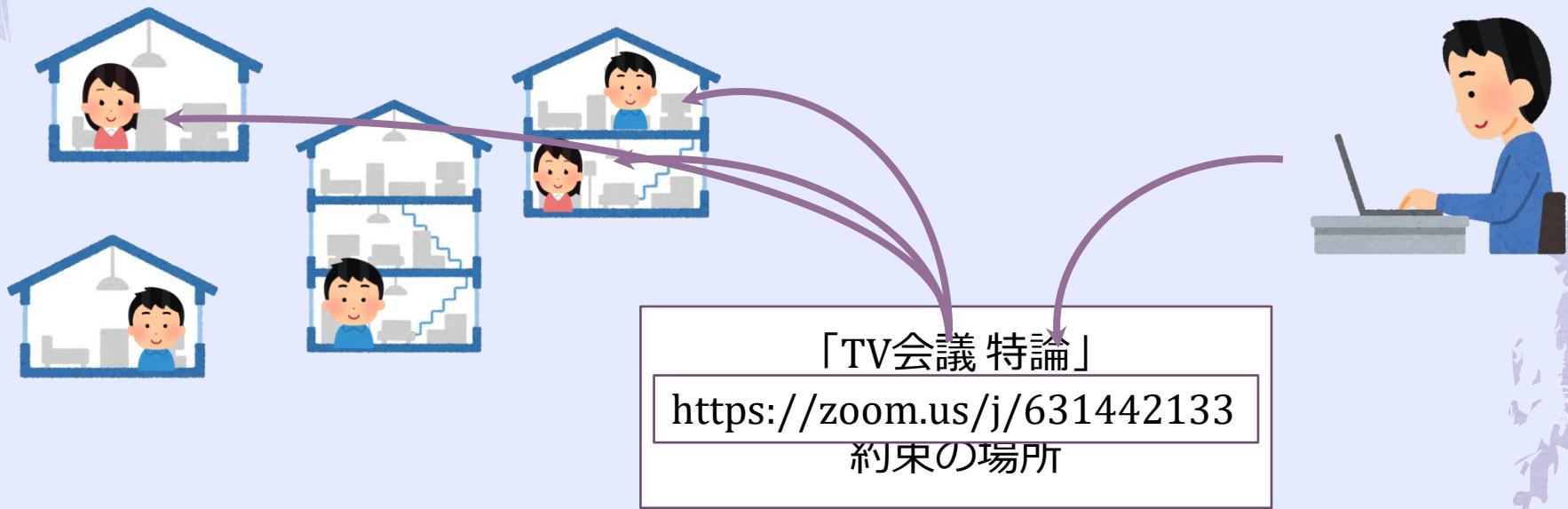
TV会議のURL

<https://meet.google.com/qgw-oimk-frj>

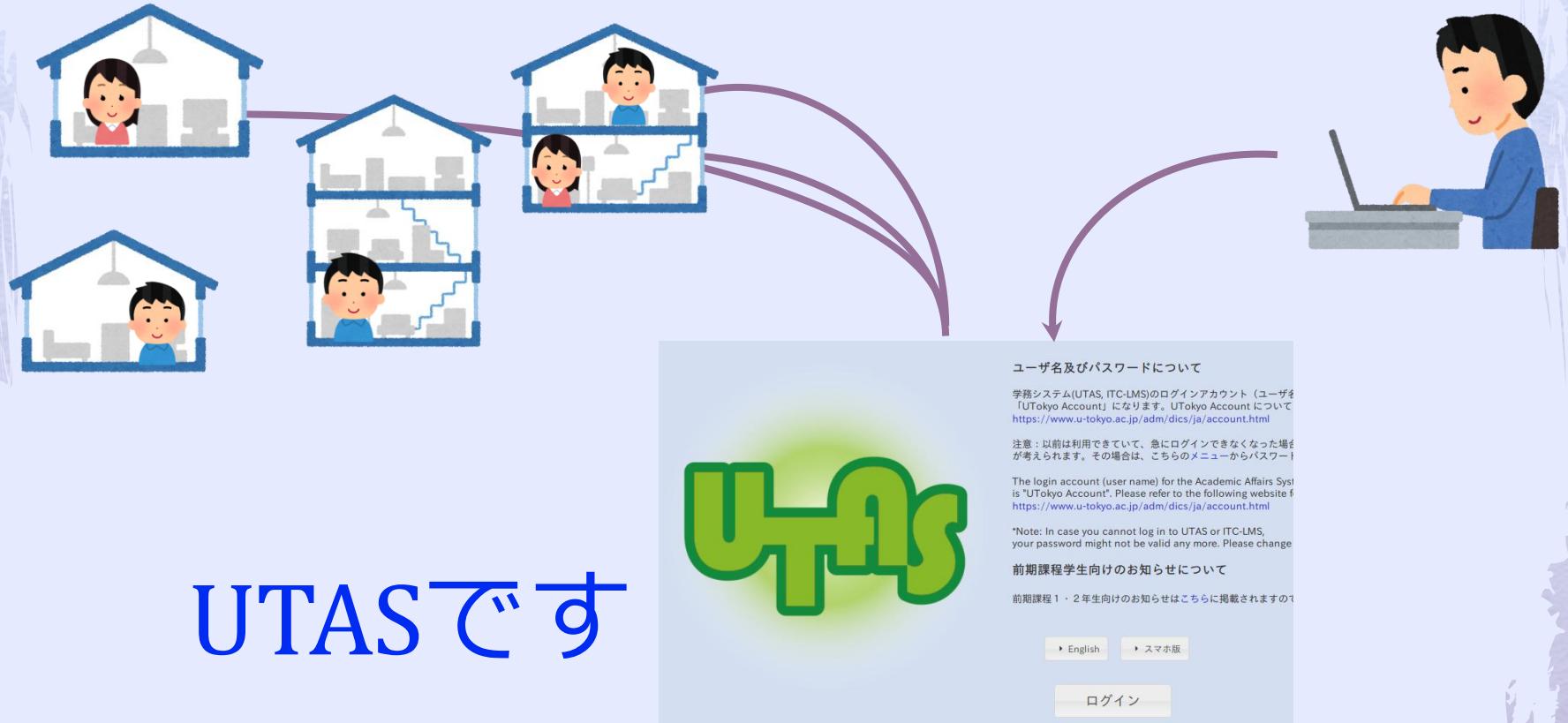
2020年3月25日(水) 18:00 tamatsukuri.junji@mail.u-tokyo.ac.jp

授業の場合

- ◆ 問題 「誰に送ればいいかもわからない」
- ◆ 解
 - ◆ 教員が「約束の場所」にURLを書く
 - ◆ 学生も「約束の場所」からURLを読む



「約束の場所」とは...



UTAS

- ◆ 学務システム
 - ◆ 多くの教員にとっては「シラバス登録」「成績入力」
 - ◆ 学生にとっては「履修科目の選択、登録、成績確認」
- ◆ このたび、科目のシラバスページに「オンライン授業URL」を追加
- ◆ 2020年度向け緊急措置として学期中の更新も可能にした

以降の流れ

◆ 基本編

- ◆ 教員（またはその代理）が行うこと
- ◆ 学生が行うこと
- ◆ 部局、学科・専攻：教員への周知のお願い
- ◆ 部局、学科・専攻：学生への周知のお願い

以降の流れ

◆ 基本編

- ◆ 教員（またはその代理）が行うこと
- ◆ 学生が行うこと
- ◆ 部局、学科・専攻：教員への周知のお願い
- ◆ 部局、学科・専攻：学生への周知のお願い

教員（またはその代理）が行うこと

- ◆ 担当講義のシラバス「詳細情報」の一番下「オンライン授業URL」にTV会議へのURLを記入
- ◆ 動画 <https://youtu.be/rlHrutdrjbo>

以降の流れ

◆ 基本編

- ◆ 教員（またはその代理）が行うこと
- ◆ 学生が行うこと
- ◆ 部局、学科・専攻：教員への周知のお願い
- ◆ 部局、学科・専攻：学生への周知のお願い

学生の授業参加

- ◆ UTASの「履修」：自分が履修またはお気に入り登録している講義の一覧表示
- ◆ そこから各授業のシラバスへ行く
- ◆ <https://youtu.be/J9dnXmFiIcI>
- ◆ 注意：オンライン授業のURLが学期途中でかわるかもしれません!!
 - ◆ 毎回UTASへアクセスしてください!!

本方式の成績

項目	基準	評価
低障壁	極力すでに知っている・使っている（はずの）仕組みを使う	優
安全性	部外者がアクセスできない	優
利便性	登録も閲覧も便利にできる	可

今回やむなくここに目をつぶっている
学生は毎回UTASメニュー階層をたどり、URLを取得
最新の自分用URL一覧でもあれば便利なのだがそれを授業開始までに完成は困難

FAQと思われる点

- ◆ Q：教員は毎週URLを生成 {しないといけない・できる} のか？
- ◆ A：
 - ◆ 同じURLを使いまわせます（カレンダー&スケジュール機能）。やり方はポータルに掲載（この後）
 - ◆ 毎週URLを生成（つまり更新）してもよい
- ◆ 学生は、「URLが変わる場合に備え、毎回UTASからURLを取得してください」

以降の流れ

◆ 基本編

- ◆ 教員（またはその代理）が行うこと
- ◆ 学生が行うこと
- ◆ 部局、学科・専攻：教員への周知のお願い
- ◆ 部局、学科・専攻：学生への周知のお願い

教員への周知のお願い

- ◆ 主に教務担当教員や技術職員へのお願い
- ◆ 授業を担当する教員にやり方を周知、理解してもらってください
- ◆ 本スライドも適宜参照下さい
- ◆ ポータル <https://utelecon.github.io/> も参照ください
- ◆ 質問：utelecon-questions-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp (QAフォーラム)
- ◆ 内輪の質問：utelecon@googlegroups.com (コアメンバー)

以降の流れ

◆ 基本編

- ◆ 教員（またはその代理）が行うこと
- ◆ 学生が行うこと
- ◆ 部局、学科・専攻：教員への周知のお願い
- ◆ 部局、学科・専攻：学生への周知のお願い

学生への周知のお願い

◆ まず「内容」について

- ◆ <https://utelecon.github.io/oc/> に準備に必要な情報をまとめていることを周知してください
- ◆ 今日のURL通知方法もこの後早急にアップします
- ◆ 学科・専攻ごとに掲示板など作成済みがあればリンクを張ります（フォームを作ります）

通知内容要約

- ◆ UTokyo Account
- ◆ UTAS, ITC-LMS
- ◆ Office 365, G Suite for Education (ECCSクラウドメール)
- ◆ TV会議
- ◆ それらがちゃんと動いているかのチェック環境 (後述)

学生への周知（重大事項）

- ◆ 4月から本学の学生になるすべての学生に
漏らさず周知して下さい
 - ◆ 新大学1年生
 - ◆ 新大学院生（修士・博士）
 - ◆ ともかく4月から貴学科や専攻の学生**全員**にどう連絡を取れるのかを注意深く確認してください
 - ◆ 学科・専攻ごとに微妙に違う仕組みがあると予想

注意

- ◆ UTASで連絡取れるのでは？-> 取れません
 - ◆ 登録メールアドレスが古い人
 - ◆ まだ東大にいない人（新大学院生など）
 - ◆ なお、新大学1年生には通知済み
- ◆ 一度集めてガイダンスで言えばいいのでは？
 - ◆ それも不可能になることに供える必要がある
 - ◆ 準備をさせるタイミングとしては遅い
 - ◆ それでもどうやって連絡するのか？
 - ◆ これまでなぜ初日のガイダンスに彼らはちゃんとやってきたのだろうかと振り返って考えてみてください（つまり連絡チャネルはあるはず）

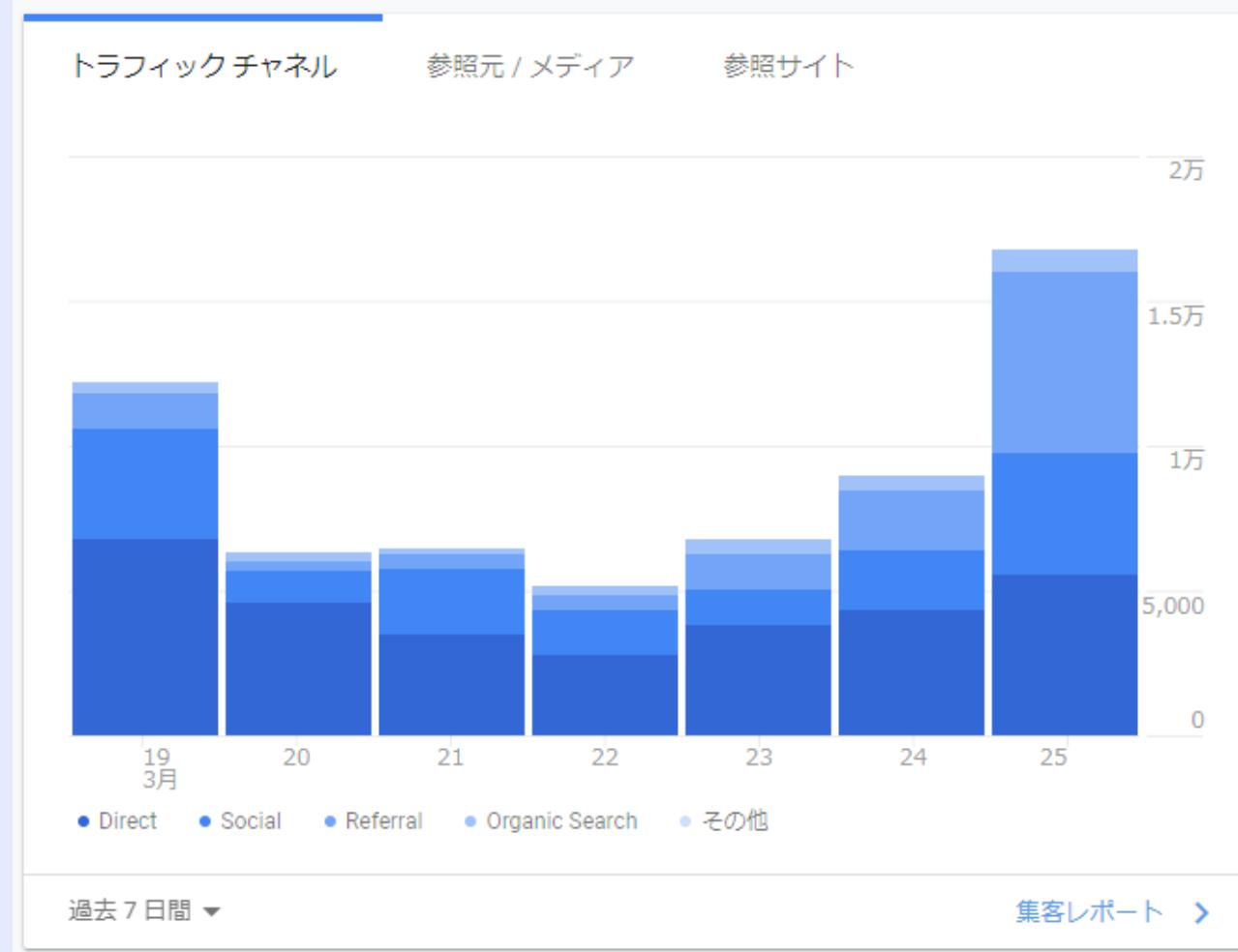
現状について

- ◆ すでに学生は動いている
- ◆ 協力の輪が広がっている
- ◆ 学生からの自発的協力が始まっている
- ◆ 大学間協力・連携もが始まっている

すでに学生は動いている

- ◆ 新大学一年生には3/19 の合格者に対する通知に URL <https://utelecon.github.io/oc/> を含めている
- ◆ Google Spreadsheet, Excel Onlineへたどり 着く学生の数が心の支え
- ◆ 昨日「常時入室可能Zoom会議」を開設

現状（訪問者数）



ページごとの訪問数

ユーザーが訪れているページは？

ページ	ページビュー 数	ページの価値
/oc/	57,835	\$0.00
/	37,561	\$0.00
/zoom/	13,401	\$0.00
/zoom/create_account	6,892	\$0.00
/events/2020-03-26/	5,425	\$0.00
/events/2020-03-19/	5,048	\$0.00
/zoom/join	4,569	\$0.00
/lms_students/	4,482	\$0.00
/events/2020-03-13/	2,818	\$0.00
/zoom/create_account.html	2,370	\$0.00

過去 7 日間 ▾

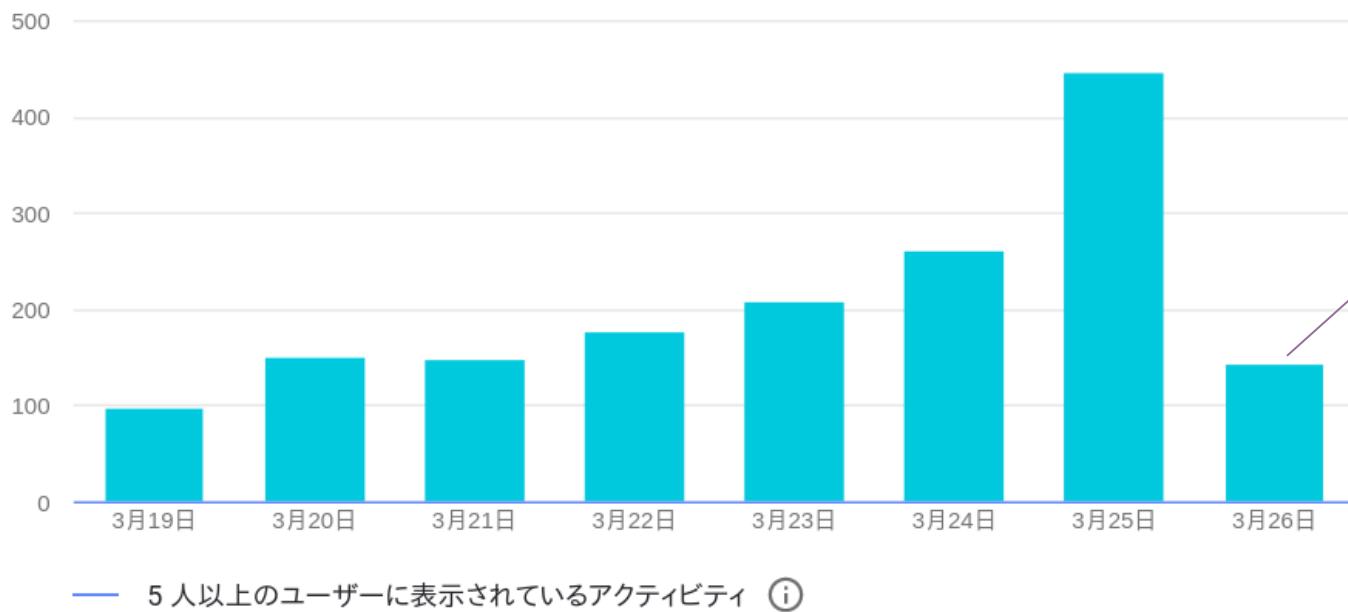
ページレポート >

Google Spreadsheet到達数

2020年3月19日以降の閲覧者の実質総数: 1291 人 ⓘ



1週間あたりのユニーク閲覧者数(2020年3月19日～2020年3月26日)



本日14:00

協力の輪が広がっている

- ◆ 初期メンバー：基盤センター、大総センター、教養学部（初年次部門）
- ◆ 工学系（教員執筆資料提供）
- ◆ 経営企画部国際戦略課（英訳提）
- ◆ 学生（次ページ）

学生からの協力

- ◆ ポータルページ執筆に協力したいと言ってくれた学生
- ◆ QAフォーラムへの技術的質問への返答をしてくれる学生
- ◆ 現在はひとえに「受け入れ側」「組織化」の準備ができていない（指示なしで動いてくれることは非常にありがたい）
- ◆ 部局でTAを組織化しているところは進めていただくのでよい（私見）
- ◆ 「他部局のヘルプ」も可能な形を作る必要がある
- ◆ 難しい撮影や接続トラブルの「現場対応」を学生に丸投げしてはならない（私見）

大学間連携も始まっている

- ◆ 3/24 7大学+NII 「大学の情報環境の在り方検討会」
- ◆ 3/26 「4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム」